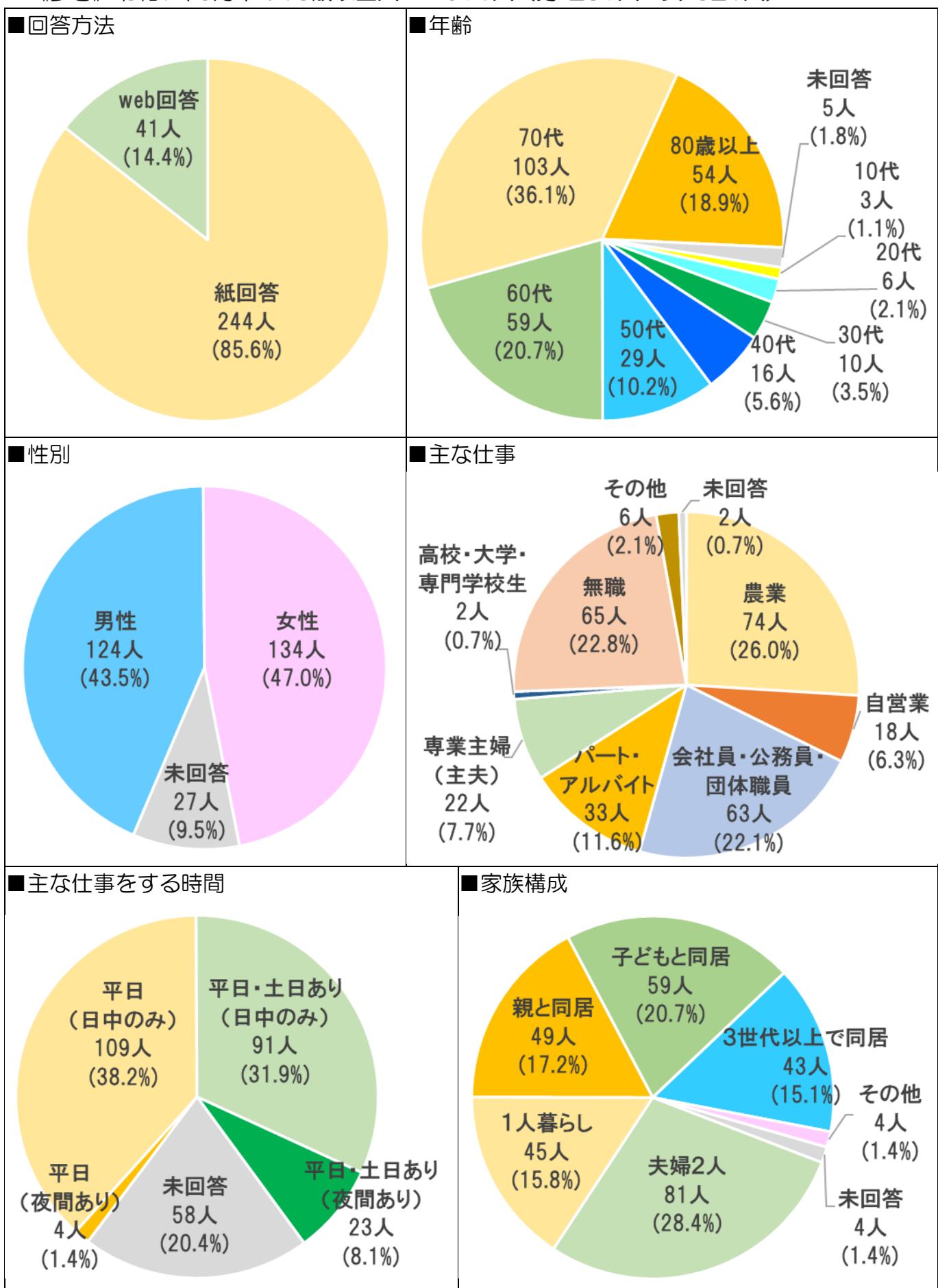
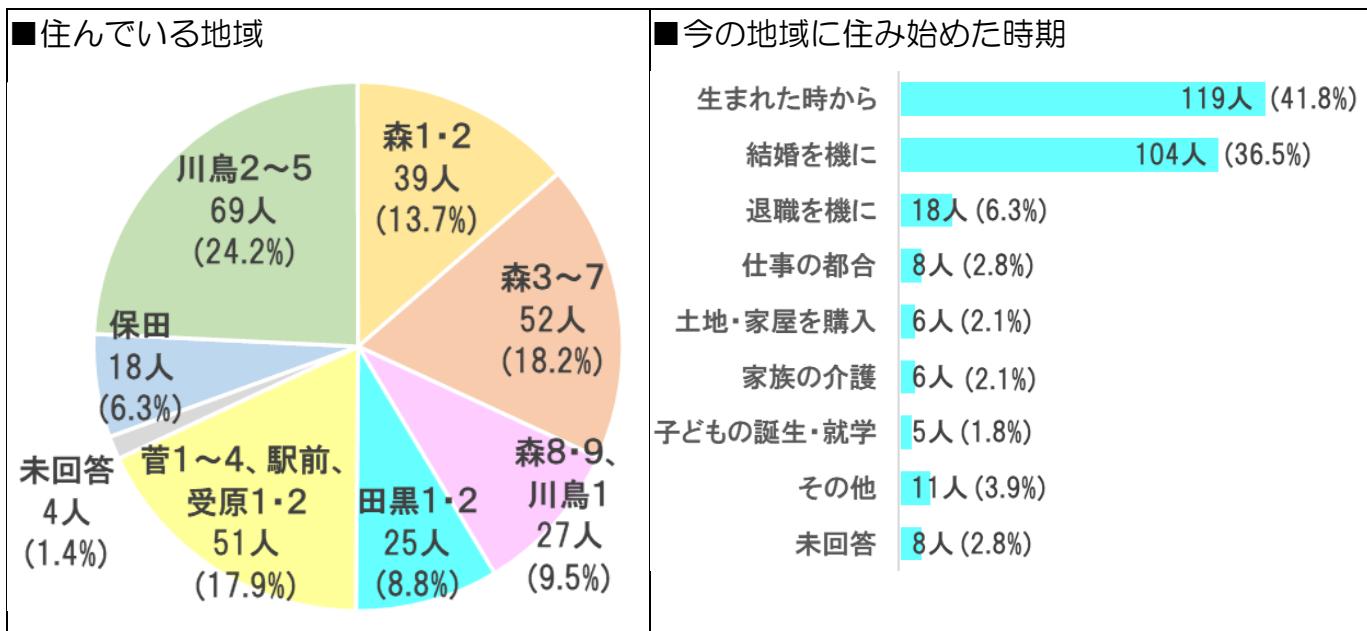


## 1. 回答者の状況

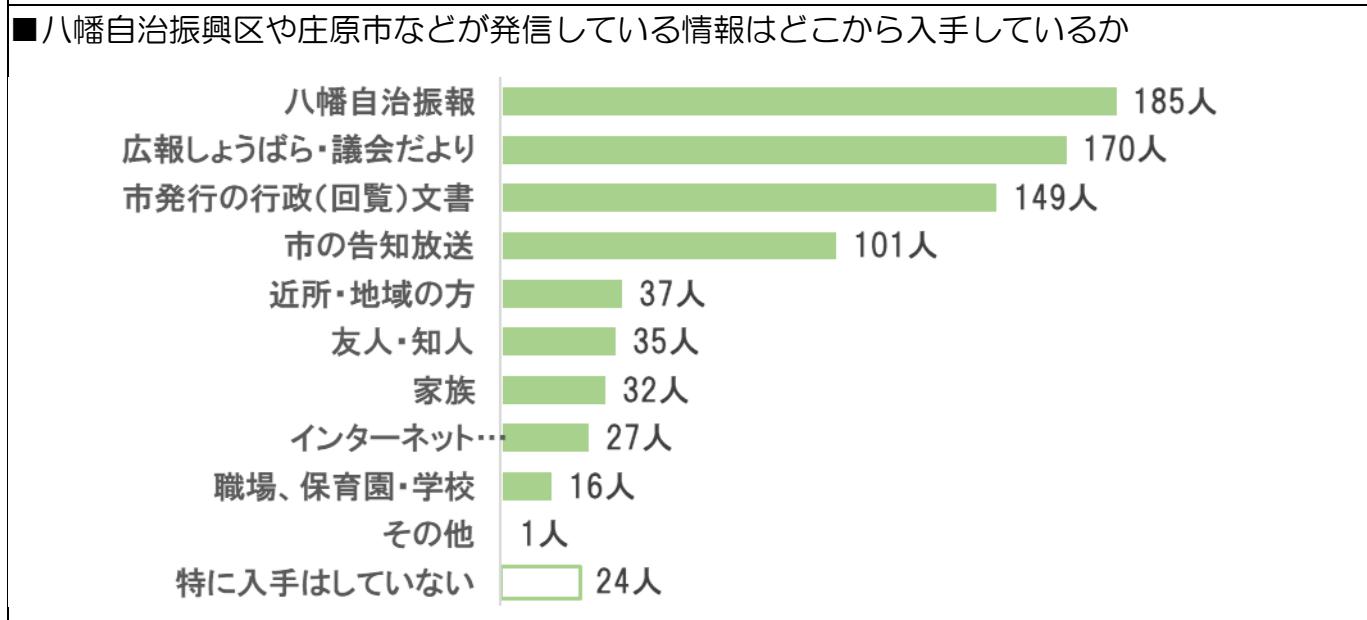
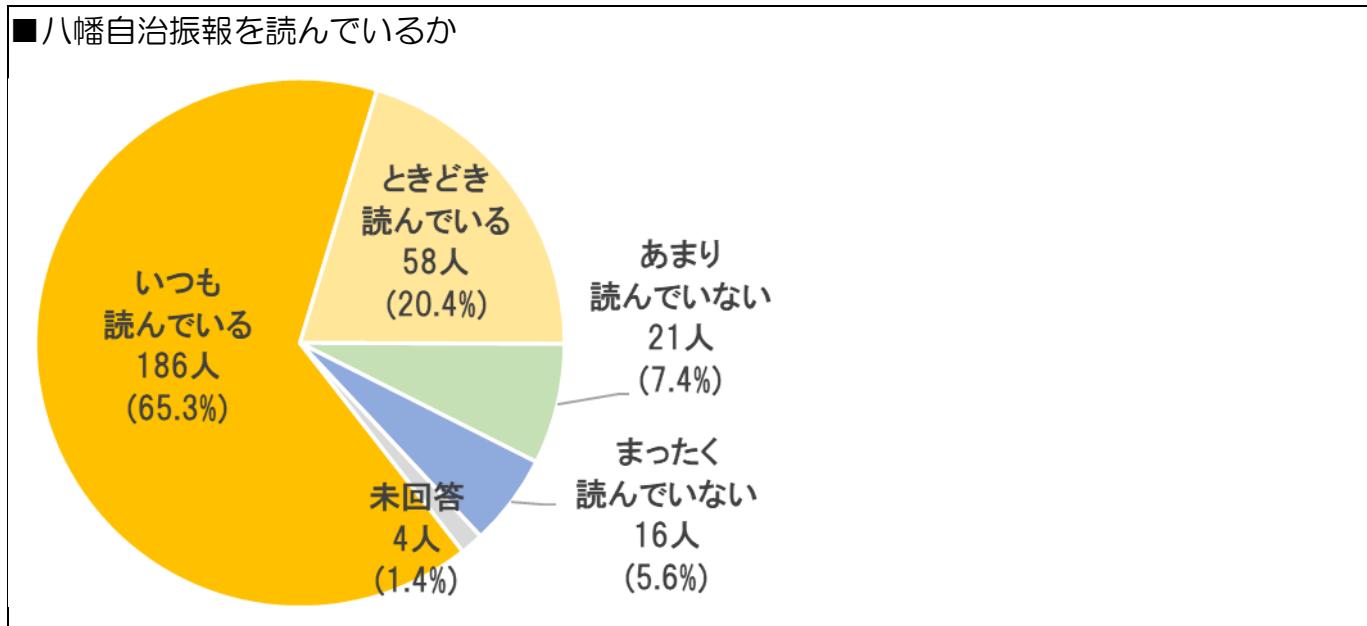
● 回答者総数 285人 ※5割弱

《参考》令和7年3月末の15歳以上人口 601人（男 280人・女 321人）



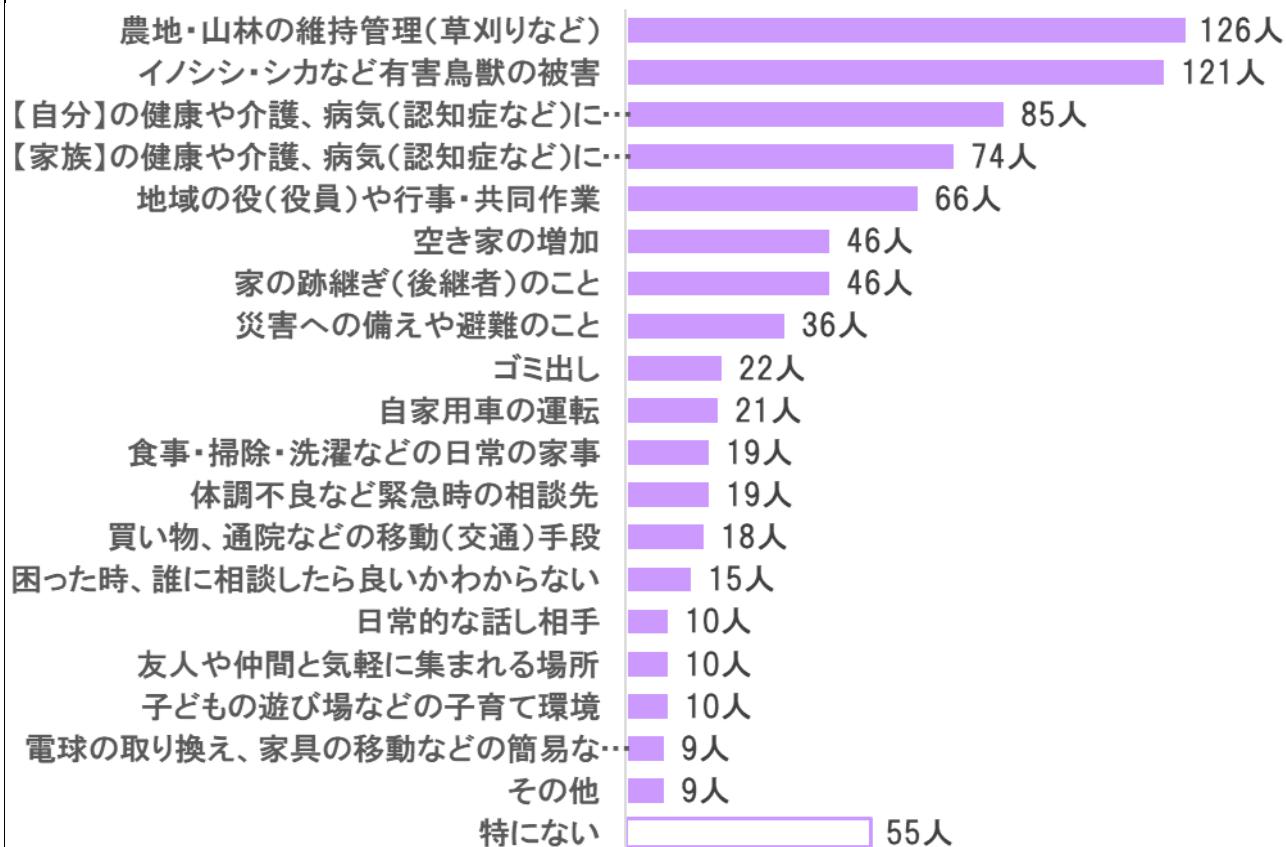


## 2. 地域の情報の収集



### 3. 日常生活のこと

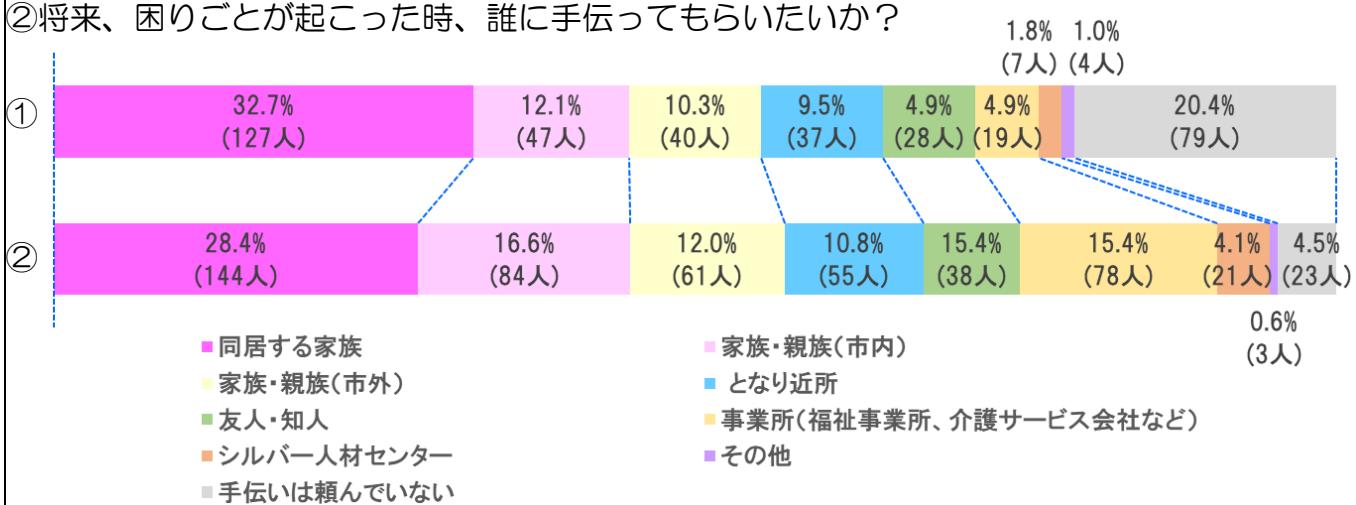
#### ■日常生活で不安に感じていること、困っていること



#### ■日常生活の困りごとの手伝い

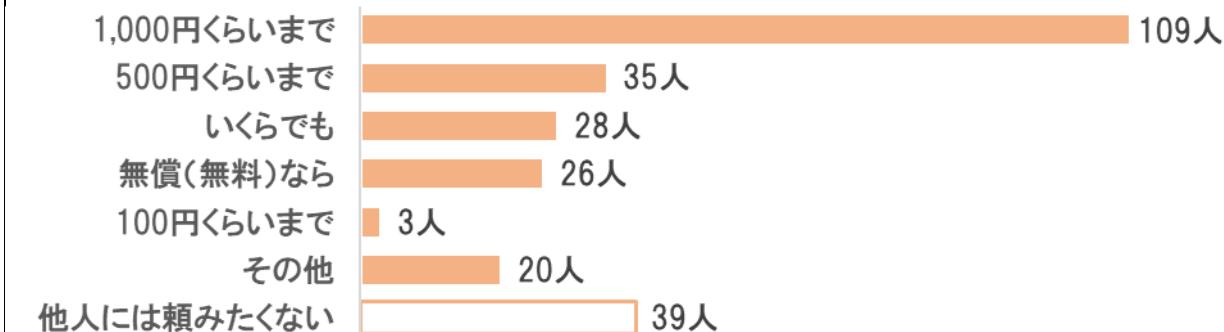
①日常生活の困りごとを、誰かに手伝ってもらっているか？

②将来、困りごとが起こった時、誰に手伝ってもらいたいか？



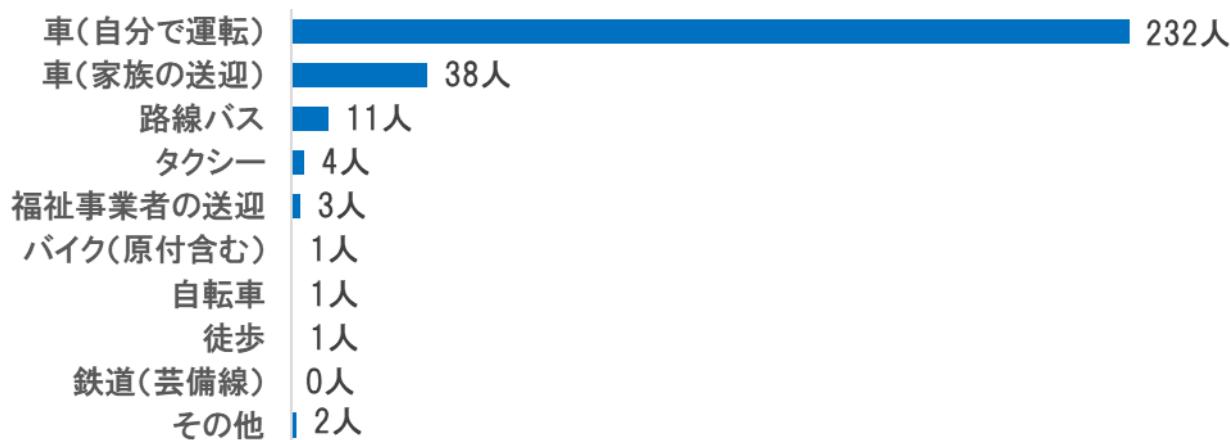
#### ■日常生活の困りごとを誰かに頼むなら、いくらぐらいなら頼むか

※ 困りごとへの対応時間は、1回（30分～1時間）程度

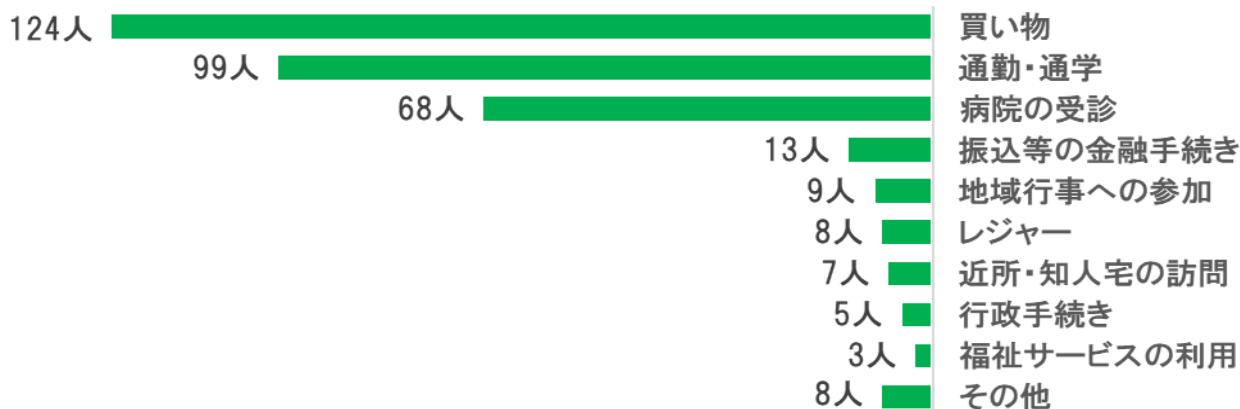


## 4. 日常に使う交通手段

### ■日常生活（通勤・通学、通院、買い物など）で一番よく使う交通手段



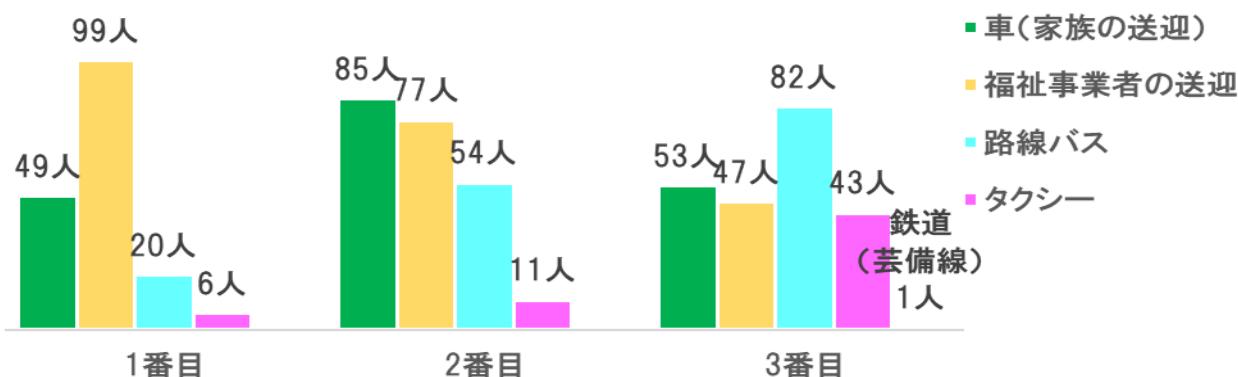
### ■その交通手段は、どんな目的で使うことが一番多いか



### ■その交通手段で、困っていること、今後困りそうなこと

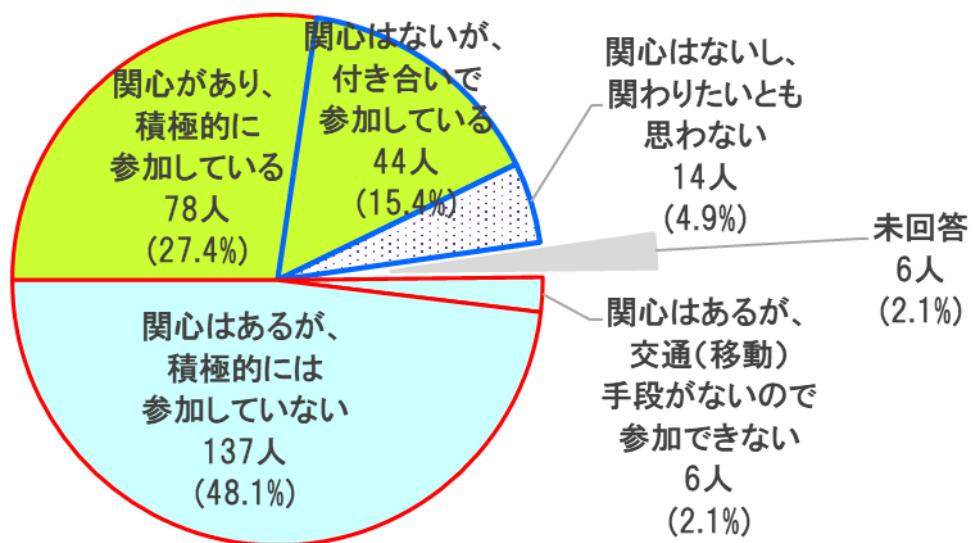


### ■自分で運転など出来なくなった後も、続けて（残して）ほしいと思う交通手段



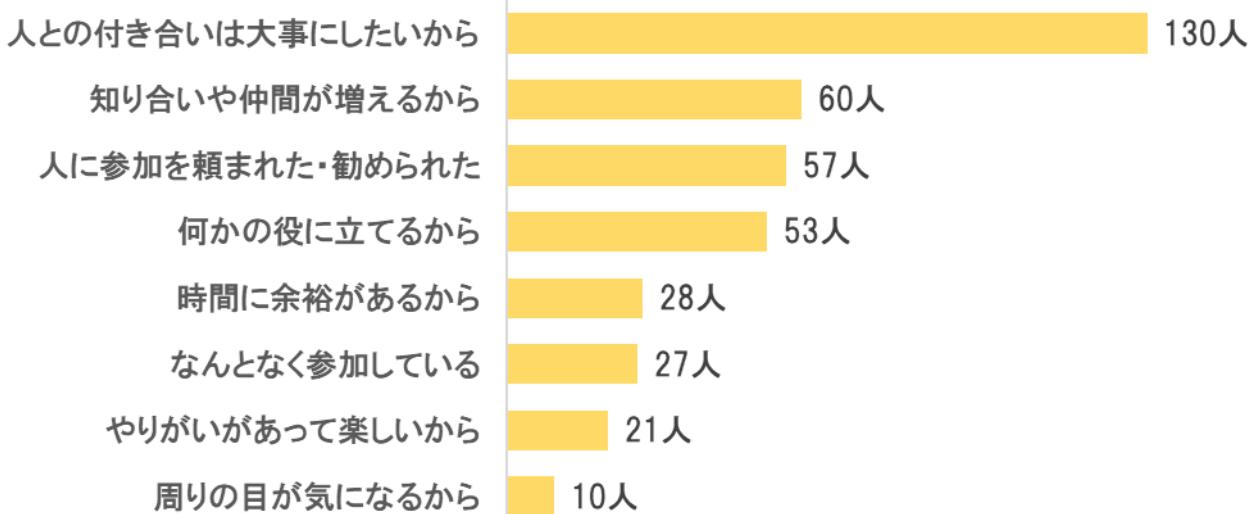
## 5. 地域活動のこと

### ■八幡地域の活動への現在の参加状況

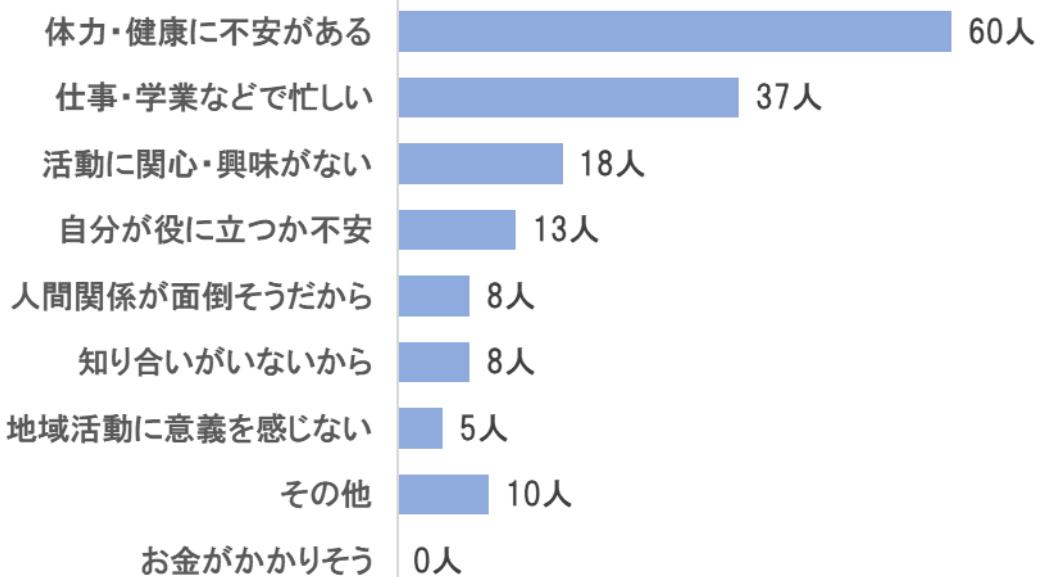


### ■上記の理由

#### 【肯定的な理由】

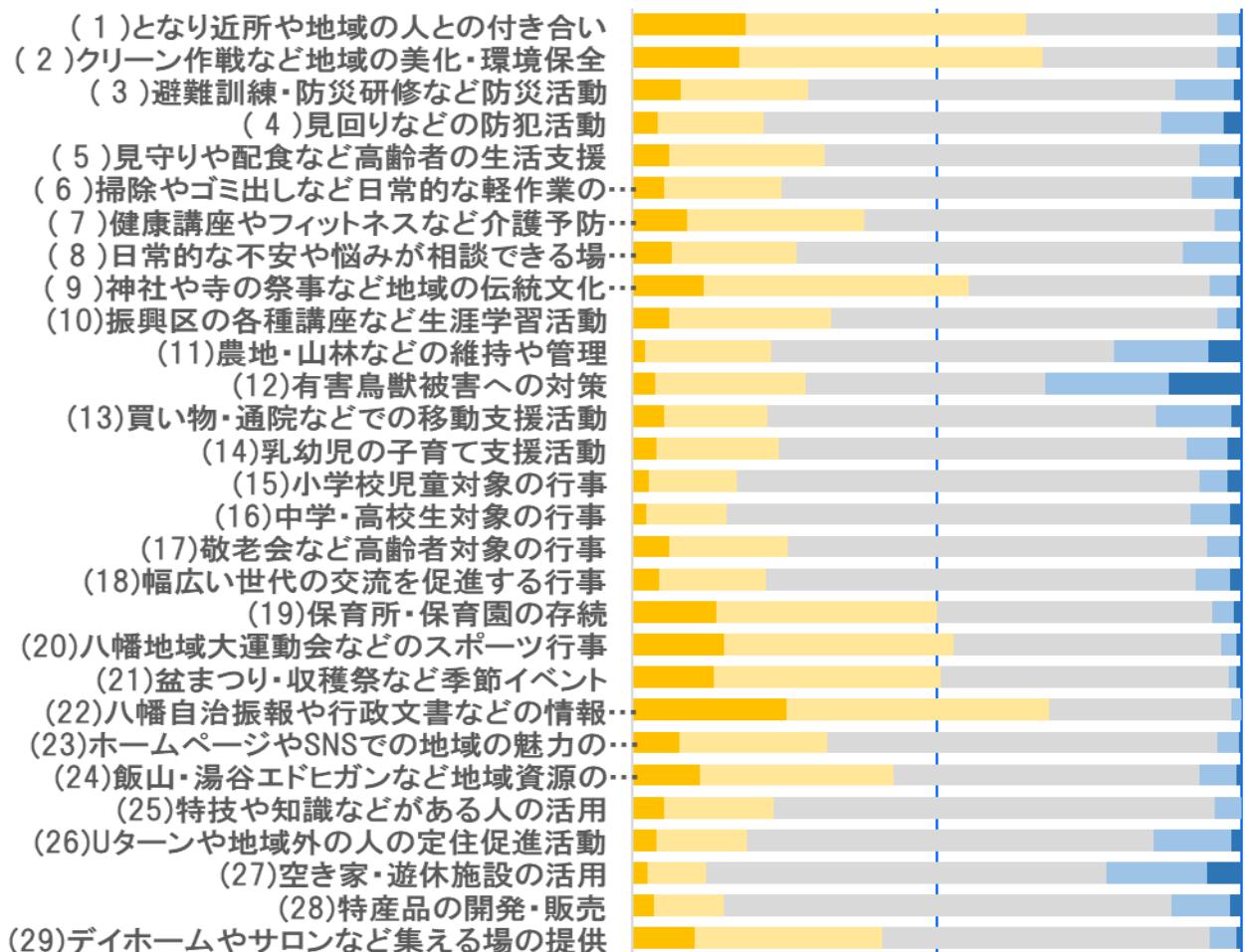


#### 【否定的な理由】

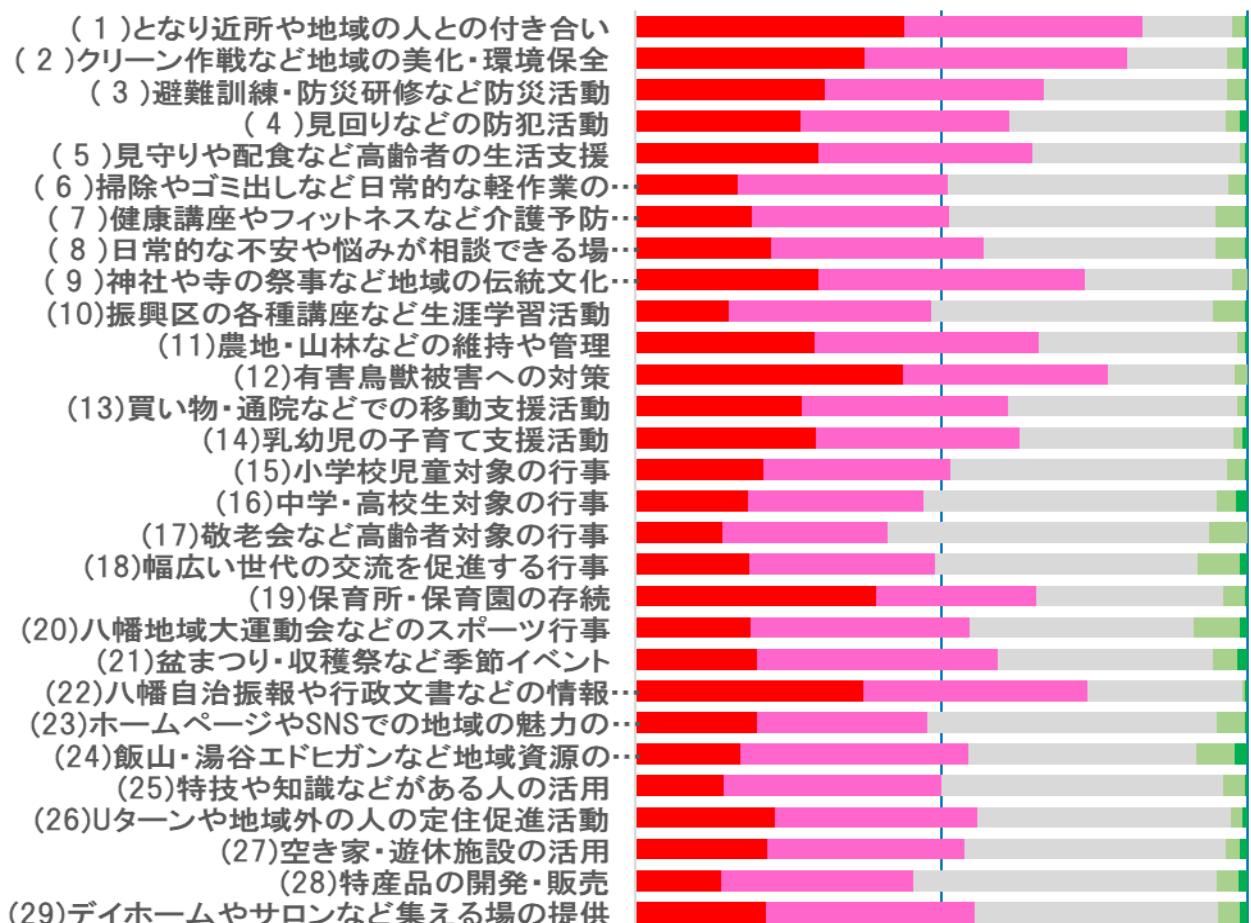


■振興区等の活動・事業に対する

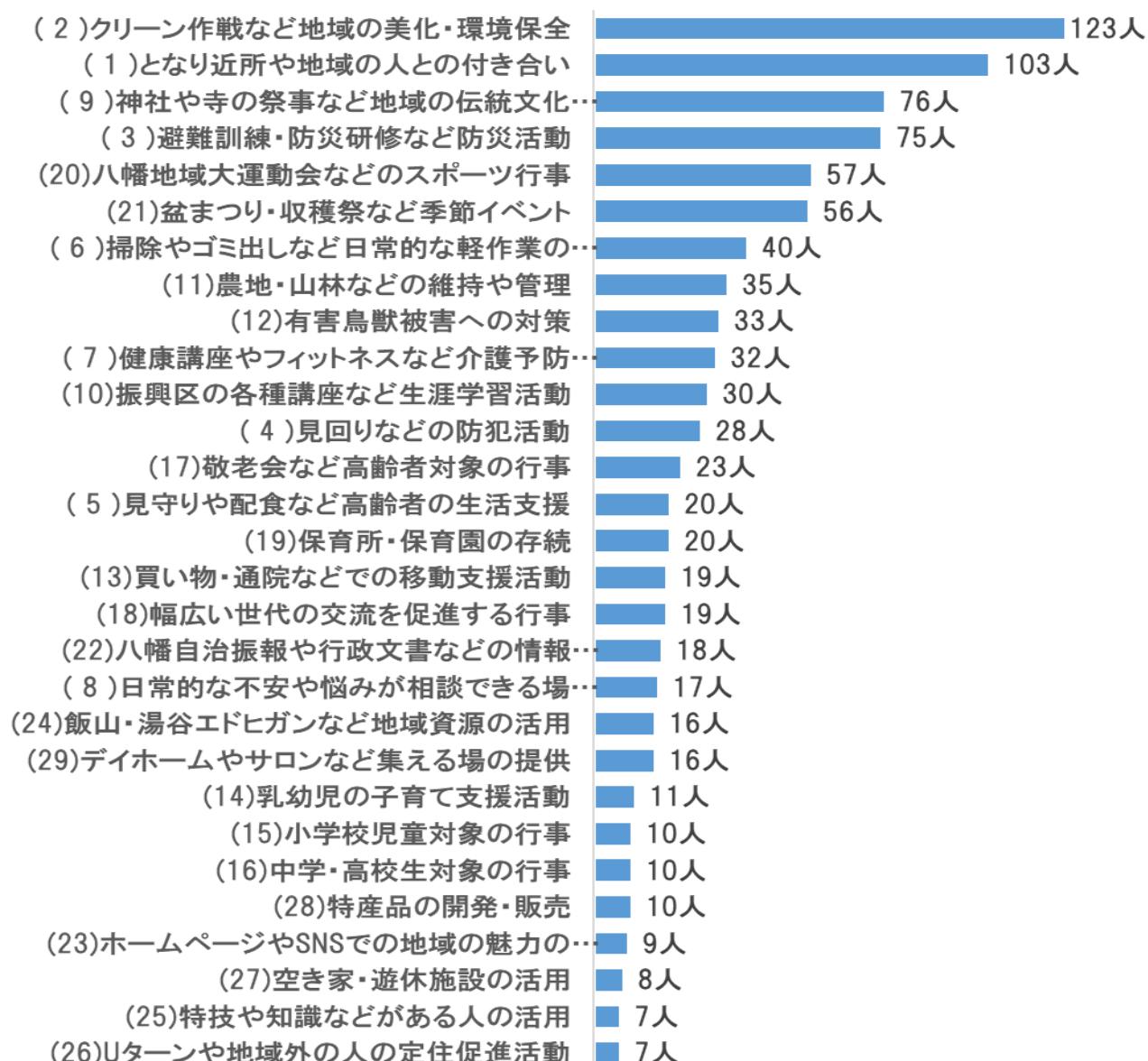
【満足度】



【重要度】



## ■参加したい・これなら協力できると思うこと



## ■その他自由意見

- ・飯山は日本の富士山にも紹介されている美しい三角の山で、川鳥側の正面から見た場合と森・田黒から見た場合と異なる形で、ふもとからの見ごたえはあるのに、折角、登山道を作っても、2時間程度で頂上まで登れるのに、登った場所、頂上から正面が植林の木が邪魔で全く見えないのがとても残念。1009mもあるのに、頂上からふもとが見えないのは、宝の持ち腐れだと思います。頂上付近の木を切って、頂上からの見晴らしを良くして地域の案内板を立て、座って昼食が食べられる屋根付きイスを設置すれば、登山する住民や、地域外からの訪問者も出てくると思います。登山案内板をスタート地点に設置し、飯山についての案内（歴史や所要時間など）も設置すれば、通りかかった観光客も興味を持ち、登山者が出て、八幡の知名度も上がると思います。頂上付近の木が切られて見晴らしがよくなり、頂上にイスが設置されれば、私も登って写真をSNSにアップしようと思い、遠くに暮らす家族に知らせよう思います。
- ・家の仕事が多い。
- ・いつもありがとうございます
- ・今は動けるが将来（10～15年）動けなくなることが心配・不安である。
- ・街灯をもう少し増やしてほしい。（明るければ有害鳥獣が庭先等に近づくのも軽減されるかと？）（主要な所にはあるが、その主要の場所が少なすぎる）★飯山整備できるなら、整備し

て他所からの人も呼んでもっと知ってもらいたい。★地元で使える施設の整備して活用出来るものは活用したい。三草の作業所等、個人で整備するには負担が多すぎる。(調理場として保健所の許可が取れれば皆が集まる場所になる。(調理場を)使いたい人もあるので近くで使用出来るようになれば良いと思う)

- ・現在は不満なく、日々、妻の介護を中心に皆さんのお蔭で過ごしております。5年から10年後のことを考えると少し不安はありますが一日一日を大事に過ごせたらと思っています。
- ・子育て世代の若い人たちが何かしらつながりがあればいいと思う。仕事や子育てで忙しいだろうけど。若い人(30~50代前半?)が積極的に楽しく参加出来るイベントがあればいいなあ。例えば親子で楽しめる映画鑑賞とか、何か工作をしたり、料理(お菓子作りとか)があったらいいなあ。他所からお嫁さんに来て地区で若い人もいないし交流の場があればと思います。
- ・御多分にもれず、私もついに80才代に突入しました。一人暮らしの上、体力の減退で、自宅の周囲の手入れや草刈も人様に頼らざるを得ない状況です。幸い自動車の運転は可能ですので、趣味を生かしたグループの交流や飯山フィットネスの利用で人間関係を構築することが出来ています。これは私見ですが、高齢者はいろいろ事情はあることでしょうが、まず積極的に人様と交わって会話をしたり、たまには愚痴をこぼしたりすることで、心が豊かになり、意欲も湧いてくるのではないか。人生一寸先は闇かもわかりませんが、前向きに身を処していくことが大事なことと考えます。
- ・この地域でずっと暮らしていきたいので歳を取っても住みやすい地域であってほしいと思う。
- ・これからますます人口減少は進んで行くでしょう。国や行政に期待は出来にくい現状の中、最終的には地域の中で助け合って行かなければ…とは思うものの、中々各々の生活が精一杯と言うのが現実で…どうしたものでしょうね?
- ・自然に恵まれ、人もやさしいのに、どんどん人口が減っていく。人が少ないので、やりたい事もできないと思う。空き家の問題なども、テレビ等で他の地区などの活動を見るとうらやましく思う(カフェやバンク etc.)。立地条件もあるから同じことはできないかもしれないが何とか若い人が住みやすく、住み続けて活性化できる方法がないか。
- ・人口の減少が進んでいる中、10年後の八幡はどうなっているのか、不安はある。車がなくても買い物ができる程度の生活ができるのに。都会なら、歩けるとお店があり、生活できると思う。
- ・人口も減っているので地域の役、行事、共同作業も見直すべきだと思います。
- ・地域の環境整備に対する意識の向上を計って頂きたい。
- ・地域の行事・活動が、人口減少、高齢化により、活動が出来なくなりつつある。いつまで出来るか不安です。現在組(戸数)5戸
- ・地域の人口減少、高齢化は避けることはできません。現在住んでいる地域のみんながお互い助け合い、伝統文化の継承、地域のイベント等積極的に参加し、日頃より交流、助け合うことが大切です。
- ・できるだけ協力したいと思っています
- ・どんな方法でも 移動手段の提供を検討して欲しい
- ・寝たきりの状態なので地域の状態よりも自分や家族の事しか関心がない。
- ・農業とパートをしています(パートは週4日20H)。地区行事には参加していますが、天気等で時間が限られ、体力的にも時間がかかり八幡の行事には参加出来なくなりました。家の仕事は自分にかかり、運動会などへの参加は今後も出来ないと思います。当地区も高齢化であ

と10年もするとメンバーも少なくなり行事も出来なくなります。ではどうするか?どうも出来ないのでは!

- ・人とのつながりもあり、お互いに気を付け合っていることが感じられている。
- ・身近に何も無いので、なにもすることが無い。
- ・もっと自分も参加しなくてはと思った。
- ・八幡の神楽は小さな「名」での開催は困難となっており、振興区による行事で出来たら文化の伝承になるような気がします。
- ・豊かな自然や農地を利用した地域おこしができないものだろうか。自分の子どもがこの地域に住みたいと思えるような地域にしたい。
- ・よくやってもらって、ありがたく思ってます
- ・何か物騒な世の中です。一人でも安心して暮らすことができるよう、地域での見守りと生活支援の仕組みづくりを期待します。
- ・過疎化が深刻
- ・過疎化高齢化は逃れられないので無理無く行事が出来ればと思います。
- ・過疎地域の先進的な活動について
- ・間違い無く、いずれ免許証自主返納の時期が来ると思いますが その時の交通手段 が今のサービスでは到底満足と言えるものでは無い。農作業 共同作業にも高齢化が進んで要るので、若者を雇用して地元で「なんでも屋」のような活動事業が出来ればと望みます。
- ・行事が多い
- ・行事などはこのまま存続してほしい
- ・行政の手厚い支援とサポートが必要
- ・高齢化、空き家が増え続けている。1ターンも良いが、家族の息子さんや娘さんがおられるのなら、行事などの時に帰省され、行事に参加、感心を持ってもらえるようなことが必要になってくるのではないかと思います。今は子育てなどで無理でも、ある程度仕事のゆとりができたら、または、定年後でも良いので。
- ・高齢者が増加し、自分達が後期高齢者になった時、若い人はどのくらいいるのだろうか?
- ・若い人達が活動しやすい行事。集まりやすい場所。予算をくんだあげたらと思います。年寄りの行事が多くて助かるけど、若者向けの行事も、と思います
- ・少子高齢化で、10年20年後この地に住み続けることができるか不安である。
- ・少子高齢化の中、振興区はいろいろ工夫してくださっていると思います。
- ・庄原市としての手話講座など興味あるんですが、参加するには遠いので複数回の講座参加は難しいので振興区で開催できればして欲しいです。
- ・色々な企画や計画をしても、暮らして居る人の関心や、参加が少ないと思う。特に、知ってる人しか知らない行事などは、毎年、同じ顔ぶれになっているように想う。私が幼少期にマラソン大会があったのが、老若男女問わず、参加して盛り上がって居たので、是非、復活して頂きたいです。
- ・人が少なくなるのはいかんともしがたいところです。
- ・人口が少くなり、今後の地域での暮らしが不安です。
- ・人口減少に伴って行事の規模などの縮小の検討が必要
- ・先のことを考えたら不安ですが、今できることを地域の一員としてやっていきます。
- ・組も高齢者や空き家が増えてきて行事も決まった人ばかりです。道の草刈りや水路掃除などみんなで協力しあわないといけないと思い作業には出るようにしております。作業には出すカープの応援には行くという方の話を耳にしますが各個人が協力するという気持ちがなけれ

ば何事もできないと思います。今のところ振興区の行事も運動会やクリーン作戦くらいしか参加することができなくて残念なのですがいつか色々参加したいとは思っています。その時には体がついていかないかも……（笑）

- ・地域の活性化のために、振興区事務局、支部長は大変な努力をいただいている。感謝します。
- ・地域の方と助けあっていきたいと思います。
- ・中高生向けのイベントや内容の行事が増えると子供の参加率が増えると思う
- ・定住促進策を進めていただきたい。
- ・八幡の人は八幡を存続させたいと思っているとは感じない。子どもは外へ出す。が、自分たちは楽に生活したい。5年後10年後を見据えた考え方とは思えない。シルバー民主主義という言葉があるが、まさにそれだと感じる。八幡振興計画とあるが、振興させようという気はさらさらなさそうです。八幡へ移住する人、定住する人が少ないので、とても排他的に感じるからかもしれませんね。あとは、責任を押し付ける。言い始めたらキリがありませんのでこの辺りで。
- ・基本的に、これがダメだ。と感じてはいません。何故なら、公共などには期待せず、自分の出来る範囲で。という環境で育ってきた世代だからかと思います。”
- ・暮らし自体はすごく良い地域でとても過ごしやすいです。地域行事が多くいつも都合で参加できなくて、地域や組に対して、申し訳なさを感じないといけないのが難点です。また高齢者や子育て支援の他にも、少子高齢化や人口減少というのであれば、子供が欲しい家庭にも支援していく地域になれば若い人にも今後良い地域と思われると感じました。
- ・暮らし続ける環境のひとつに独居高齢者又は車を所持していない世帯の外出手段の確保は必須かと思います
- ・役員になったら最後、自分の趣味や活動を後回しにする事が多いです。子供の行事等に出ることが多いのも理由ですが、地域の方に気を使わないといけないです。申し訳ないです。
- ・特になし
- ・特にはなし（但し、生まれた時から地元にいるので可能な限り参加はしたいと思ってはいる）